

<第182号>

事務局だより

平成30年6月11日発行

現在の会員数

合計 196名

(男性 135名)

(女性 61名)

□平成30年度 定時総会・互助会定期総会

先月31日に行われた定時総会及び互助会定期総会は、会員皆さまのご協力により滞りなく終了しました。今年度は、定時総会において役員改選があり、以下の方々が選任されましたのでお知らせします。また、定時総会終了後に臨時理事会を開催し、理事長、副理事長、常務理事が、以下のとおり選任されましたので合わせてご報告します。

理事長	村上 豊継 (再)	理事	葛西 俊逸 (再)
副理事長	木村 那智子 (再)	理事	須藤 幸四郎 (新)
常務理事	村元 修 (再)	理事	西谷 孝 (新)
理事	工藤 武裕 (再)	理事	石沢 義昭 (新)
理事	池内 次男 (再)	監事	三上 謙二 (再)
理事	今野 清英 (再)	監事	大平 誠治 (再)

□平成30年度会費～納入期限迫る～

当センターの定款により、正会員は6月末までに会費を納めることが定められています。まだ納めていない方、納めたかどうかちょっと忘れてしまった方は、遠慮せず一度事務局へお問い合わせください。

また、4月号でお知らせした『会費割引制度』は、5月末現在で1組が利用しています。会費を納めるついでに、シルバーと一緒に活動したいご友人を連れて来て、会費割引を受けてみませんか？お待ちしております！

※会費から〈一般会員〉1,500円引き 〈ゴールド会員〉1,000円引き

□善行紹介

今年も、会員の工藤キクエさんが、事務局の周囲の草取りをしてくださいました。いつもありがとうございます。丁寧な作業のおかげで、とても綺麗になりました。



□理事長のつぶやき ～加齢が鰈(カレイ)で大笑い～

5月のゴールデンウィーク中は、弘前の桜も何処へも行かなかったので、当然のように家の中でゴロゴロしていることが多く、落語のCDやラジオを聞いて大笑いしながら過ごした。

外へ出かけないことも良いもので、好きな落語や綾小路きみまろ爆笑ライブなど、久しぶりに腹から笑ったことですっきりした気分。

また、ラジオから流れてきた番組で、番組名は忘れたが、内容は勘違いをオーバーに表現したもので、日常の会話に潜んでいる笑いをコンパクトにまとめあげたもの。自分ではかなり面白かったので紹介します。

場面は病院の一コマで、「あの人は華麗だ」と言った人がいて、側に居た人が「あの人もくたびれてきたんですか？」と尋ねたという。もう一つ付け加えるならば、あるご婦人の方が通院して、ドクターに「最近体がだるく夜もなかなか寝付きが悪く食欲もない」と言ったら、ドクターは「カレイです」と言ったという。

また、「階段の上り下りなども息切れがして、動悸が続くようになった」と言うと、それもドクターは「カレイ」だと言うのだ。

ご婦人はびっくりして「どうして私がスーパーで鰈(カレイ)を買って食べている事が分かったのかしら」と思ったという。そのご婦人は、白身の魚が大好きで鰈や鯛などをいつも買っていたというのだ。

もちろん、ドクターは鰈のことは知る由もない訳であるが、ご婦人は夕食のおかずになる鰈の事だと思っていたらしく、家に帰って旦那さんにその話をしたところ「馬鹿な奴だな、それはカレイ違い」で、年を重ねることが加齢だと知って2人で腹を抱えて大笑いしたという“オチ”がつくのである。

いずれにしても、世間には勘違いしていることもいっぱいあって、素敵に年を重ねて「華麗」に見える人も大勢いるので、少し立ち止まって考えたりする事も必要な。

せっかくのゴールデンウィークに何処へも行けなかつたので、連休が明けた5月13日に、千本鳥居で有名な“高山稲荷神社”(旧車力村の津軽蝦夷の時代から各種産業の守護神を祀る)へカミさんの友達夫婦ら5人で行って来た。日頃の運動不足と加齢の影響からか、階級を上がっただけで全員息切れして、やっとの思いで参拝。

やはり加齢は正直で、嘘はつけないと感じて帰宅と相成った。しかし、体は辛くても気分はすっきりでした。

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131